

2026年2月期 通期決算説明資料

2026年4月10日

株式会社 **セイヨー**

- 1. 2026年2月期 通期決算概要**
- 2. 2027年2月期 業績見通し**
- 3. 株主還元（配当・株主優待）**
- 4. トピックス**

1. 2026年2月期 通期決算概要

◆売上高 4,796百万円 (前年同期比6.9%増)

◆営業利益 35百万円 (前年同期比63.2%減)

➤ 売上高については、主力のアイスクリーム部門にて「かき氷カップ」や「Marone (マロネ)」シリーズ等の新商品が寄与し、夏季の猛暑も追い風となった。昨年11月に開設した富山工場は12月中旬より本格稼働を開始し、以降は売上高増加に寄与。

➤ 利益面では原材料・エネルギーコストの高止まり、物流費・人件費の上昇に加え、富山工場の改修・試運転に伴う一時費用が発生。また、富山工場において将来のアスベスト及びフロン除去に係る資産除去債務を計上したことに伴い、繰延税金負債を計上した結果、法人税等調整額(損)24百万円により、当期純利益を圧迫。

	2026年2月期 通期		2025年2月期 通期	
	実績 (百万円)	売上高 比率(%)	実績 (百万円)	売上高 比率(%)
売上高	4,796	—	4,484	—
売上原価	3,951	82.3%	3,616	80.6%
売上総利益	844	17.6%	867	19.3%
販管費	809	16.8%	771	17.2%
営業利益	35	0.7%	96	2.1%
経常利益	54	1.1%	123	2.7%
当期純利益	11	0.2%	119	2.6%

1. 2026年2月期 通期決算概要



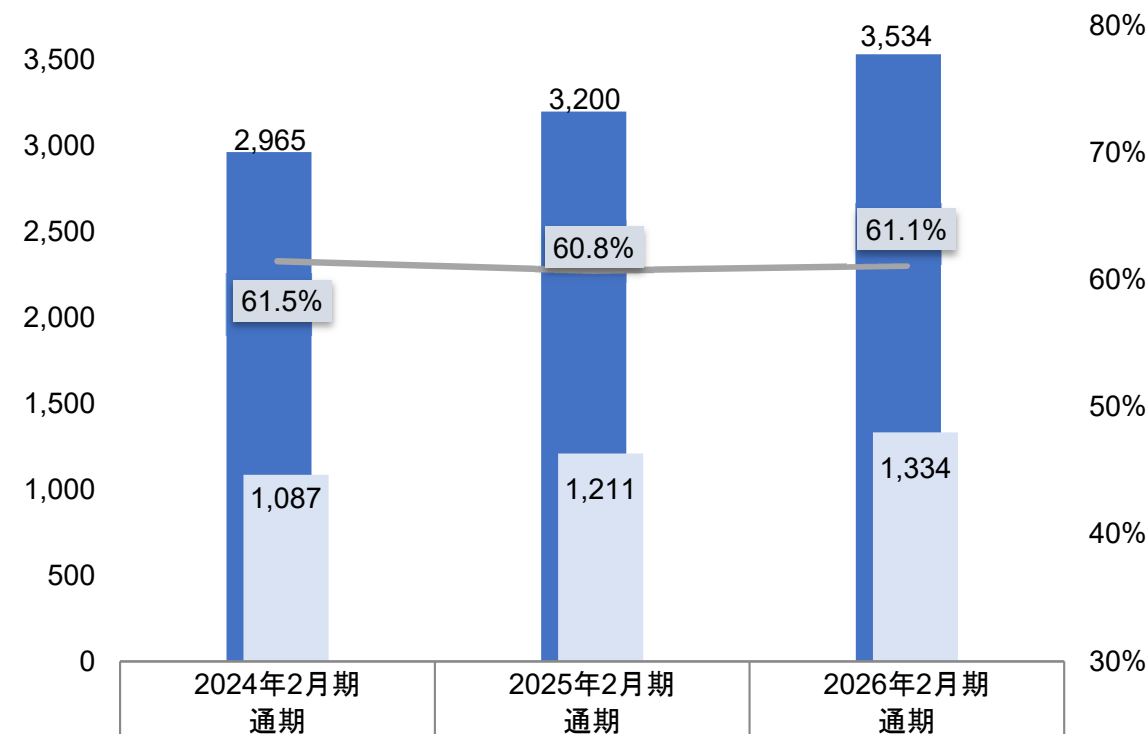
【部門別業績】

◆ アイスクリーム部門

- アイスクリーム部門は前期比10.4%増
- その内自社製品は前期比10.1%増
「かき氷カップ」や「Marone（マロネ）」シリーズ等の新商品が寄与
- OEM売上は前期比11.0%増。
その内、森永乳業(株)向けは、12月以降の富山工場稼働により、プラス寄与し前期比6.9%増

百万円

売上高の推移



■ アイスクリーム部門	2,965	3,200	3,534
■ 自社ブランド	1,087	1,211	1,334
— 森永乳業含むOEM割合	61.5%	60.8%	61.1%

1. 2026年2月期 通期決算概要



【部門別業績】

百万円

◆ 仕入販売部門

- 昨今の流通構造の変化に伴い、一部のお取引先様においてメーカー直接取引への移行が進んだ影響を受けた一方で、佐渡の観光需要回復に伴い、ホテル・飲食店向けの業務用商品は好調に推移

仕入販売部門



◆ 和菓子部門

- 笹だんごは販売価格転嫁により低調に推移

和菓子部門



◆ 物流保管部門

- 冷凍品の保管需要は高いものの、寄託品の倉庫スペース確保に苦慮し、横ばい

物流保管部門

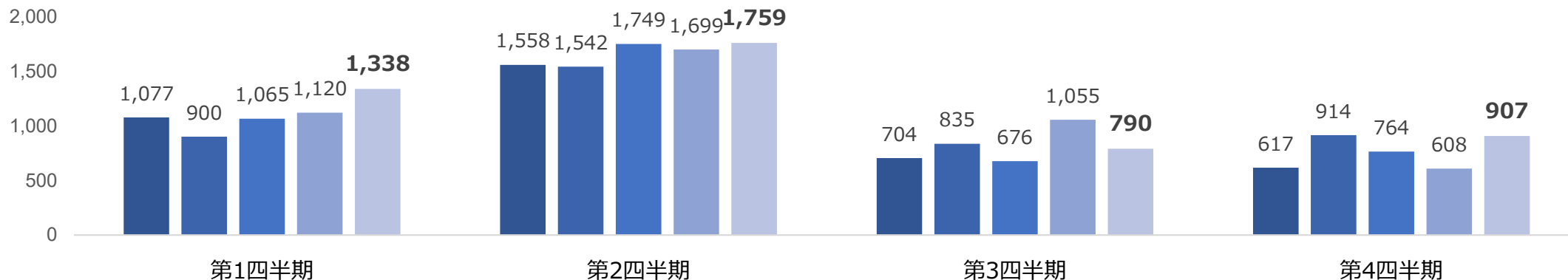


当社業績における季節性



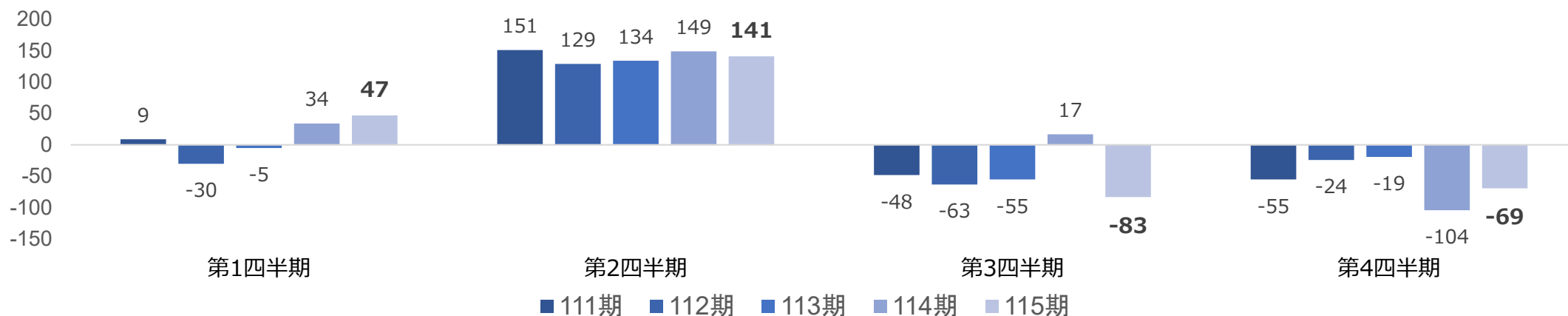
百万円

四半期別 売上高推移



百万円

四半期別 営業利益推移



- ▶ 当社は夏季期間（第2四半期会計期間：6月～8月）に集中して需要が発生
そのため、第2四半期会計期間の売上高は他の四半期会計期間と比べ著しく高くなる傾向

季節性業績に対する対策



冷蔵製造販売が主軸の当社は、繁忙期である通期に売上・利益の大半を計上し、第3・第4四半期に大きく苦戦するという状況が続いており、通期以外においてどのような営業戦略を実行していくかが長年の経営課題となっている

当期における対策の取組み

もも太郎×スポーツ による夏季以外の需要喚起

新潟の夏の定番として定着しているもも太郎に新機軸として、スポーツシーンでの利用を提案するプロモーションを展開。

新CM「部活動で箱買い編」の制作、FM新潟の特別番組「From Athlete! NIIGATA Edi.」への提供を展開。

季節を問わずスポーツ時のクールダウン、応援の差し入れといった新規需要創出につなげます。

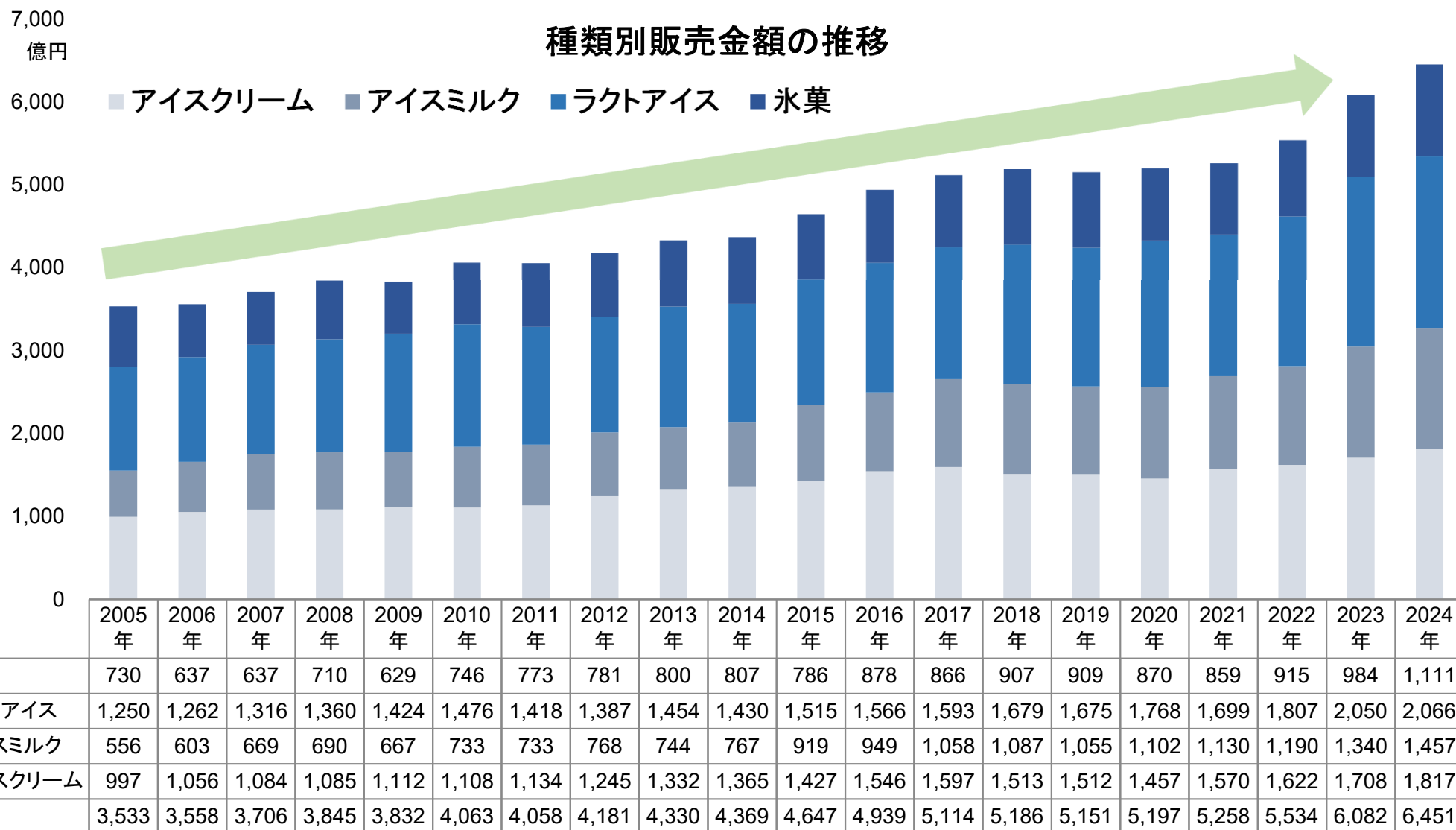
今後も引き続き、第3・第4四半期の業績改善に向け積極的な取り組みを継続してまいります。



CM動画は公式Youtubeチャンネルより視聴可能



アイスクリーム販売：国内市場は成長基調が続く



Source：一般社団法人日本アイスクリーム協会「2024年度 アイスクリーム類及び氷菓 販売実績」より

2. 2027年2月期 業績見通し



◆ 2027年2月期の通期業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

(通期)

期	売上高 (千円)	営業利益 (千円)	経常利益 (千円)	当期純利益 (千円)	営業利益率	当期純利益率	1株当たり 配当(円)
予想：116期	6,000,000	126,000	126,000	95,000	2.1%	1.5%	18(予想)
実績：115期	4,796,658	35,373	54,526	11,476	0.7%	0.2%	18(予定)

(第2四半期)

期	売上高 (千円)	営業利益 (千円)	経常利益 (千円)	当期純利益 (千円)	営業利益率	当期純利益 率
116期上期	3,800,000	230,000	230,000	160,000	6.0%	4.2%
115期上期	3,097,776	188,231	202,632	133,146	6.0%	4.2%

主力のアイスクリーム部門においては、富山工場が通年で寄与することにより、生産体制の強化を通じたOEM需要の取り込みが進むとともに、主力製品であるかき氷カップを中心とした売上拡大を見込んでおります。また、自社製品においては「Marone（マロネ）」シリーズのラインアップ拡充を含む新商品の投入により、ブランド認知の向上を図ってまいります。

一方で、原材料価格や物流費用につきましては、中東情勢の影響を含め、足元の市況やこれまでの動向を踏まえたうえで、現時点で把握可能な範囲において一定の影響を考慮しておりますが、先行きについては引き続き不確実性の高い状況が続いております。

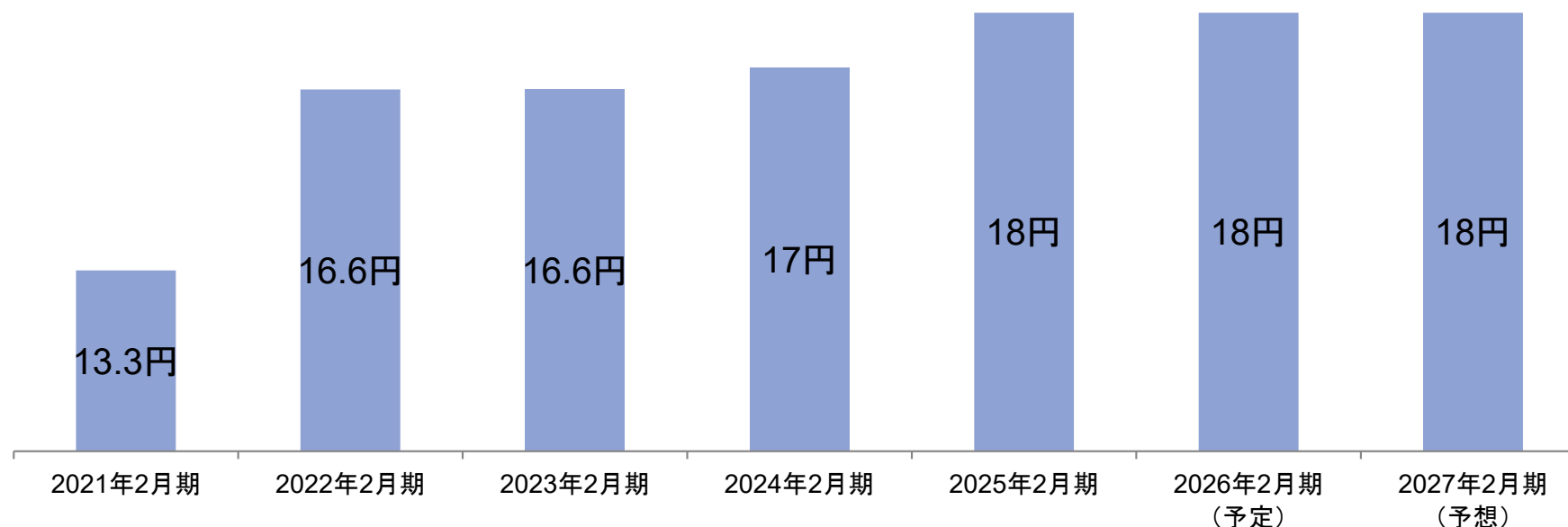
これらの状況を踏まえ、2027年2月期通期業績予想につきましては、売上高は6,000百万円（前期比25.0%増）、営業利益126百万円（前期比256.1%増）、経常利益126百万円（前期比131.0%増）、当期純利益95百万円（前期比727.7%増）となる見込みであります。

3. 株主還元：配当推移及び配当方針



当社は、利益配分につきましては、将来の事業拡大と企業体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続することが基本的な方針

1株あたりの配当金額の推移



※ 2023年3月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しており、2023年2月期以前の配当は株式分割後の基準で記載しております。

- 株主還元に関するベンチマークを用いた還元方針に関しては、現在の当社を取り巻く状況と今後の収益状況を見極めたうえで検討を行っていくことといたします

3. 株主還元：株主優待制度について



株主優待制度

当社では、株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社製品をよりご理解いただくこと、また、当社株式への投資魅力を高め、中長期的により多くの株主様に保有していただくことを目的として、株主優待制度を実施しております。

毎年8月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主様に対し、その所有株式数に応じて、当社製品詰め合わせをお届けいたします。

株主優待の内容

100株以上	2,000円相当の当社製品詰め合わせ
500株以上	3,000円相当の当社製品詰め合わせ
1,000株以上	4,000円相当の当社製品詰め合わせ



掲載写真は過去にお届けした株主様ご優待品の一例です。実際にお届けするご優待品の内容とは異なる場合がございます。

4. トピックス



「Marone(マロネ)」シリーズ3つの味が新登場

優しくまろやかな味わいが特徴のアイスバー「Marone(マロネ)」に、「カフェオレ味」「ヨーグルト味」「バナナ味」が新たに加わりました。毎日のちょっと一息つきたい癒しの時間にぴったりのMarone(マロネ)シリーズをぜひお楽しみください。



健康経営優良法人2026(中小規模法人部門)に認定されました



当社は、経済産業省および日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人認定制度」において、「健康経営優良法人 2026（中小規模法人部門）」に認定されました。当社としては今回が初めての同認証取得となります。

今後も、当社はすべての従業員が健康に働くことができる、活力のある職場づくりのため健康経営を推進してまいります。

本資料は、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。

投資の最終決定はご自身のご判断で行ってください。

なお、使用するデータおよび表現等の欠落や誤謬につきましては、当社はその責を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

また、本資料の無断複製・転載は、固くお断りいたします。



※業績予想等に関する記述につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。